

JACメンバー機関からの トピックス紹介

適合性評価関連の国際動向について

公益財団法人

日本適合性認定協会

事務局長 森内譲

日本適合性認定協会（JAB）



名称	公益財団法人 日本適合性認定協会 Japan Accreditation Board (JAB)
所在地	東京都港区芝4丁目
設立	1993年11月1日（2010年7月1日 公益法人に移行）
経緯	日本工業標準調査会の答申に基づき、経団連の主導の下、35の産業団体から基本財産の出捐を受け「日本品質システム審査登録認定協会」の名称で発足 1996年6月、環境マネジメントシステム審査登録機関・認証機関、試験所などの認定を事業に加え「日本適合性認定協会」に改称
主管官庁	内閣府
事業目的	<ul style="list-style-type: none">・ 適合性評価制度及び適合性に係る諸外国との相互承認体制の確立と発展を図る・ 産業経済の健全な発展と公正な経済活動を支える・ 安心・安全な社会基盤構築に寄与する

認定スキーム



CB (Certification Bodies)

マネジメントシステム認証
機関

品質 (QMS)

環境 (EMS)

労働安全

食品安全

要員認証機関

製品認証機関

農産物 (GAP)

水産物 (MEL)

妥当性確認・検証機関

温室効果ガス

妥当性確認・検証

ICAO CORSIA検証

LAB (Laboratories)

試験所・校正機関

機械・物理

食品衛生

標準物質生産者

臨床検査室

検査機関

技能試験提供者

バイオバンク

適合性評価関連の国際動向

- 新しい分野
- アライアンスの拡大
- グローバル認証データベース

適合性評価関連の国際動向

- **新しい分野**
- アライアンスの拡大
- グローバル認証データベース

ISO/IEC 17029:2019 (JIS Q 17029:2022)

妥当性確認及び検証機関に対する一般原則及び要求事項

- 妥当性確認・検証活動の公平性、能力、一貫性を確保する
- 様々な分野で適用可能な枠組み規格として機能する
- 将来の用途や適用に関する主張の妥当性(validation)や、主張の真実性(verification)を確認する

ISO CASCO規格として初めて“主張”を適合性評価の対象とした規格

妥当性確認 Validation

- 客観的証拠を提示することによって、特定の意図された将来の用途又は適用に関する要求事項が満たされているという主張を確認すること

検証 Verification

- 客観的証拠を提示することによって、規定要求事項が満たされているという主張を確認すること

主張 Claim

依頼者によって宣言された情報

ISO/IEC 17029 対象分野

サステナビリティ関連分野やテクノロジー分野を中心に幅広く活用されることが期待

GHG排出量

カーボンクレジット

GHG排出量

カーボンプライシング

財務関連

サステナビリティ情報

環境情報

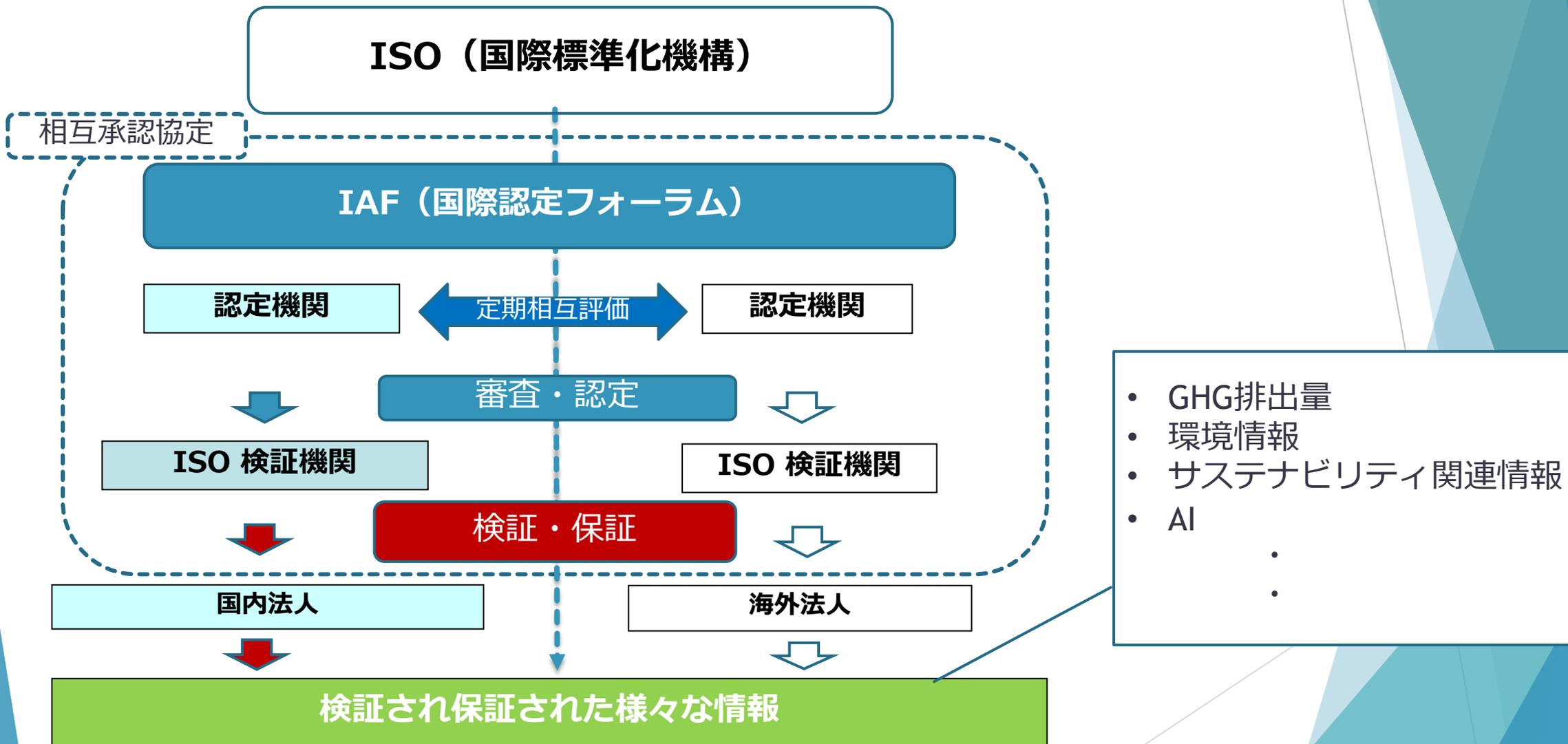
環境ラベリング

環境情報

CFP

AI

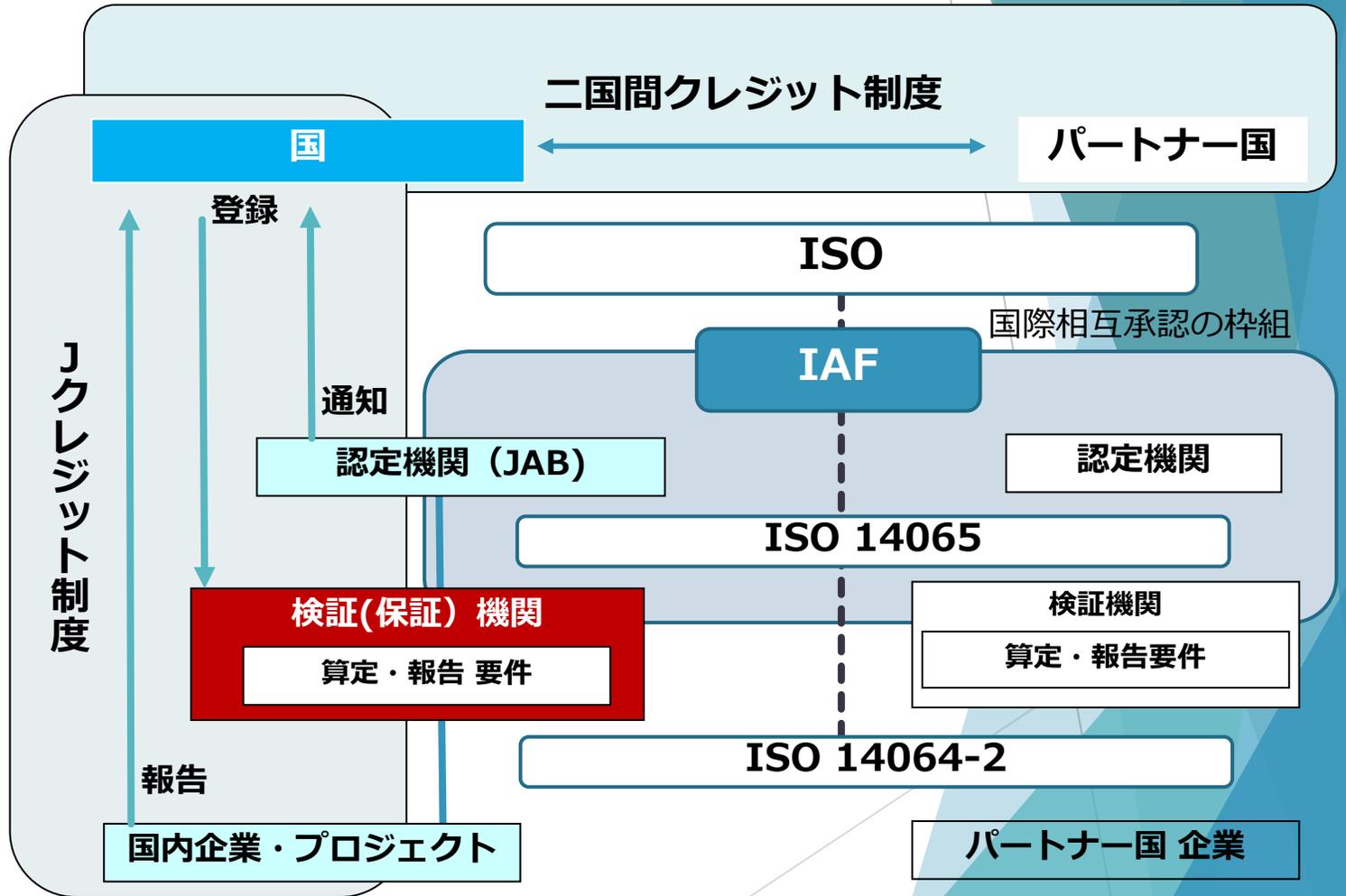
ISO/IEC 17029 適合性評価スキーム



活用事例：カーボンクレジット

二国間クレジット制度(JCM)
 パリ協定6条に沿って実施されている国の制度。国際相互承認および認定認証の取組が活用されている

Jクレジット制度
 国のカーボンクレジット政策に民間の認定認証が活用されている事例
 認定機関・認証機関は、関連省庁を支援し、産業界とも連携しながら制度構築に貢献



適合性評価関連の国際動向

- ・ 新しい分野
- ・ **アライアンスの拡大**
- ・ グローバル認証データベース



国際会計基準の策定を担う非営利組織傘下にIASB（財務報告基準を策定）とISSB（サステナビリティ開示基準を策定）がある。ISSBは2023年6月に世界的なベースラインとなるサステナビリティ開示基準を公表。

2023年12月 COP28セッションでIFRS財団とISOは、サステナビリティ関連のリスクと機会についての効果的なコミュニケーションに向けた協力をコミットすること、ISO 14001とGHG排出量関連基準は持続可能性と気候変動課題にコミットする組織を支援しIFRS S2に基づく情報開示を支援すること、サステナビリティ関連のリスクと機会に対するマネジメントプロセスと、高品質な情報開示との関連は明らかであり、この関連に焦点を当てて協力してゆくことなどが議論された。



信頼性の高いサステナビリティ基準による世界的な認証団体による組織。レインフォレスト・アライアンス、テキスタイル・エクスチェンジ、フェアトレード・インターナショナルなどが会員

- ・ 2023年7月 共同声明発表
- ・ 2024年5月 MOU締結
- ・ 2024年7月 共同ブランドでブローチャーを発行
信頼できる持続可能性適合性評価スキーム（CAS）が満たすべき必要な要素を記載

IAF MD25



- 2022年1月 「適合性評価スキームの評価基準に関する IAF基準文書」 発行
- IAFメンバー認定機関に適合性評価スキーム(CAS)及びそのスキームオーナー(SO)の評価を標準化
- 新規にIAF/MLA承認されたCASとSOが急増

IAF承認されたスキーム

メインスコープ	スキームオーナー	IAF承認スキーム
製品認証	BRCGS	BRCGS Agents and Brokers
		BRCGS Consumer Products General Merchandise
		BRCGS Consumer Products Personal Care and Household
		BRCGS Ethical Trade and Responsible Sourcing
		BRCGS Food Safety
		BRCGS Gluten-Free
		BRCGS Packaging Materials
	BRCGS Storage and Distribution	
	IFS	IFS Broker
IFS Food		
IFS Logistics		
IFS PACsecure		
GLOBALG.A.P.	GLOBALG.A.P. IFA*	
	GLOBALG.A.P. PHA	
MS認証	FSSC	FSSC22000*
		FSSC24000
	IAQG	IAQG ICOP
	FAMI-QS	FAMI-QS*
要員認証	IPC	IPC Management System Auditors*
妥当性確認・検証	ICAO	ICAO CORSIA*

*は2022年以前の認証スキーム

IAF承認/MOU締結 スキームオーナー



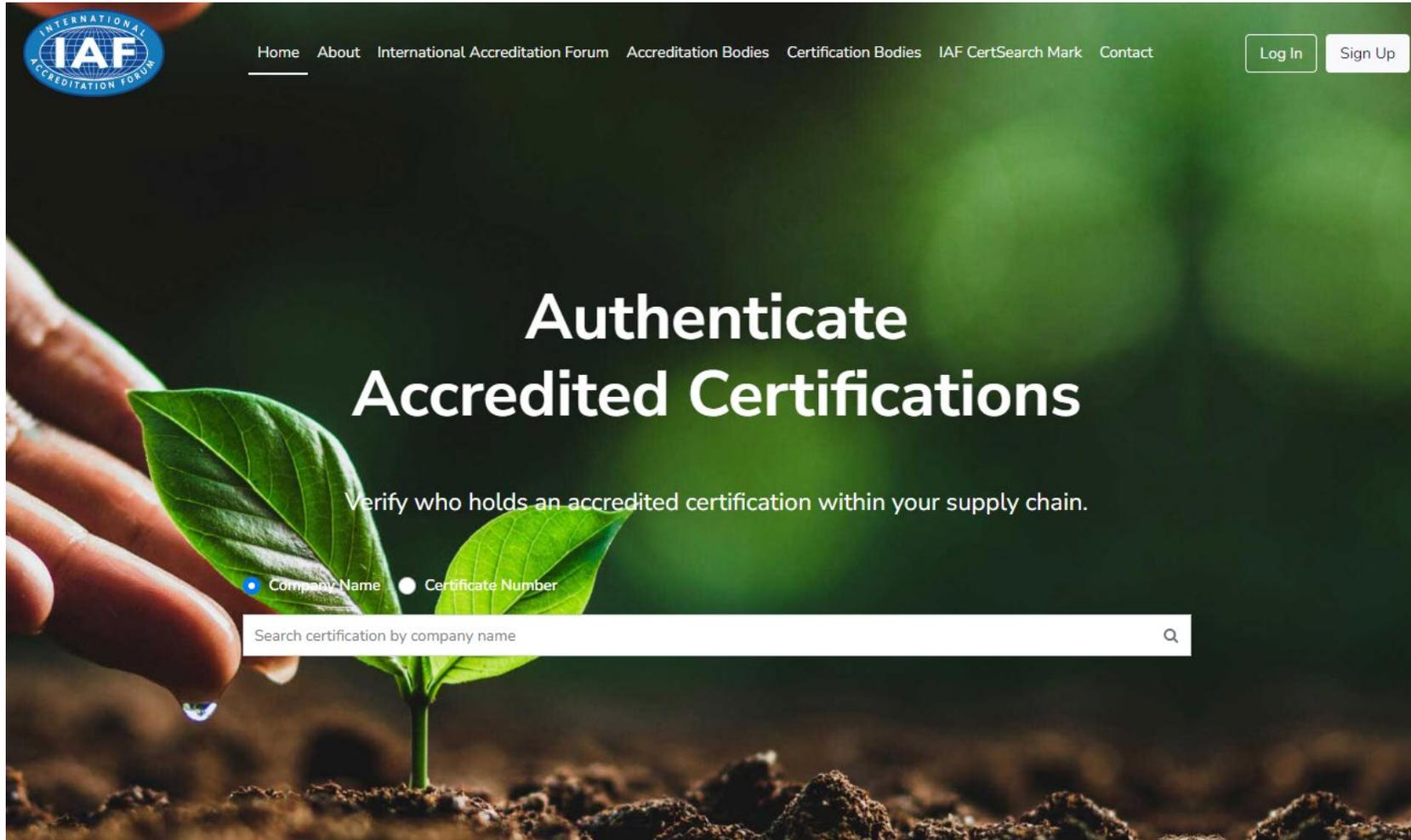
BRCS

IFS

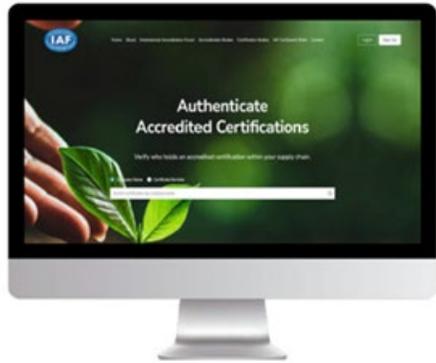


適合性評価関連の国際動向

- ・ 新しい分野
- ・ アライアンスの拡大
- ・ **グローバル認証データベース**



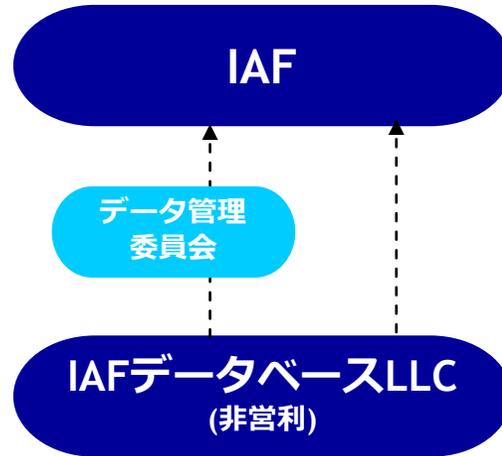
The screenshot shows the IAF CertSearch website interface. At the top left is the IAF logo. The navigation menu includes: Home, About, International Accreditation Forum, Accreditation Bodies, Certification Bodies, IAF CertSearch Mark, and Contact. On the top right are 'Log In' and 'Sign Up' buttons. The main content area features a background image of a hand holding a small green plant. The text reads: 'Authenticate Accredited Certifications' and 'Verify who holds an accredited certification within your supply chain.' Below this is a search bar with a dropdown menu showing 'Company Name' (selected) and 'Certificate Number'. The search bar contains the placeholder text 'Search certification by company name' and a search icon.



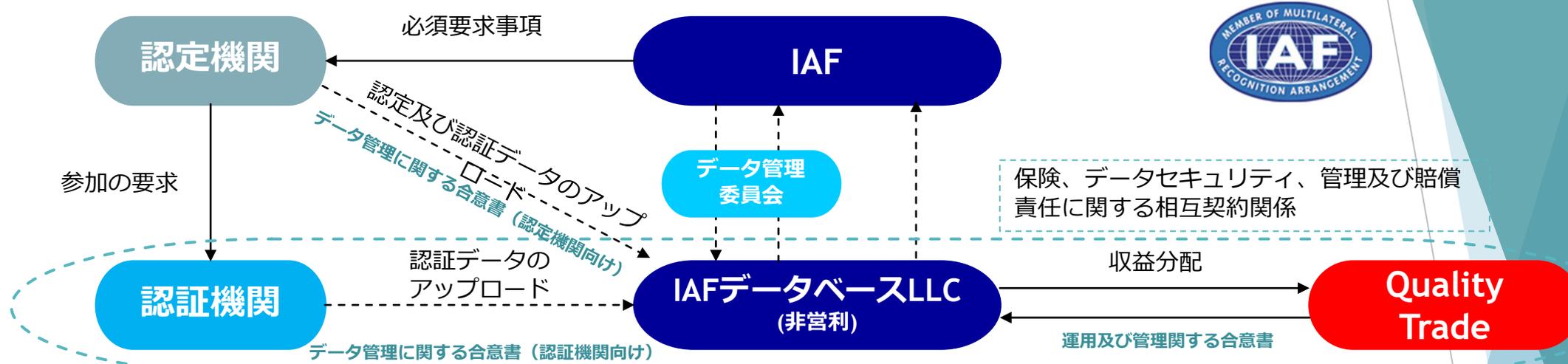
- ▶ 世界中のマネジメントシステム認証をカバー
- ▶ 認証のステータスを識別可能
- ▶ 認定された認証機関を識別可能
- ▶ 認定機関がMLA署名メンバーかどうかを識別可能
- ▶ データ分析機能を実装

<https://www.iafcertsearch.org/>

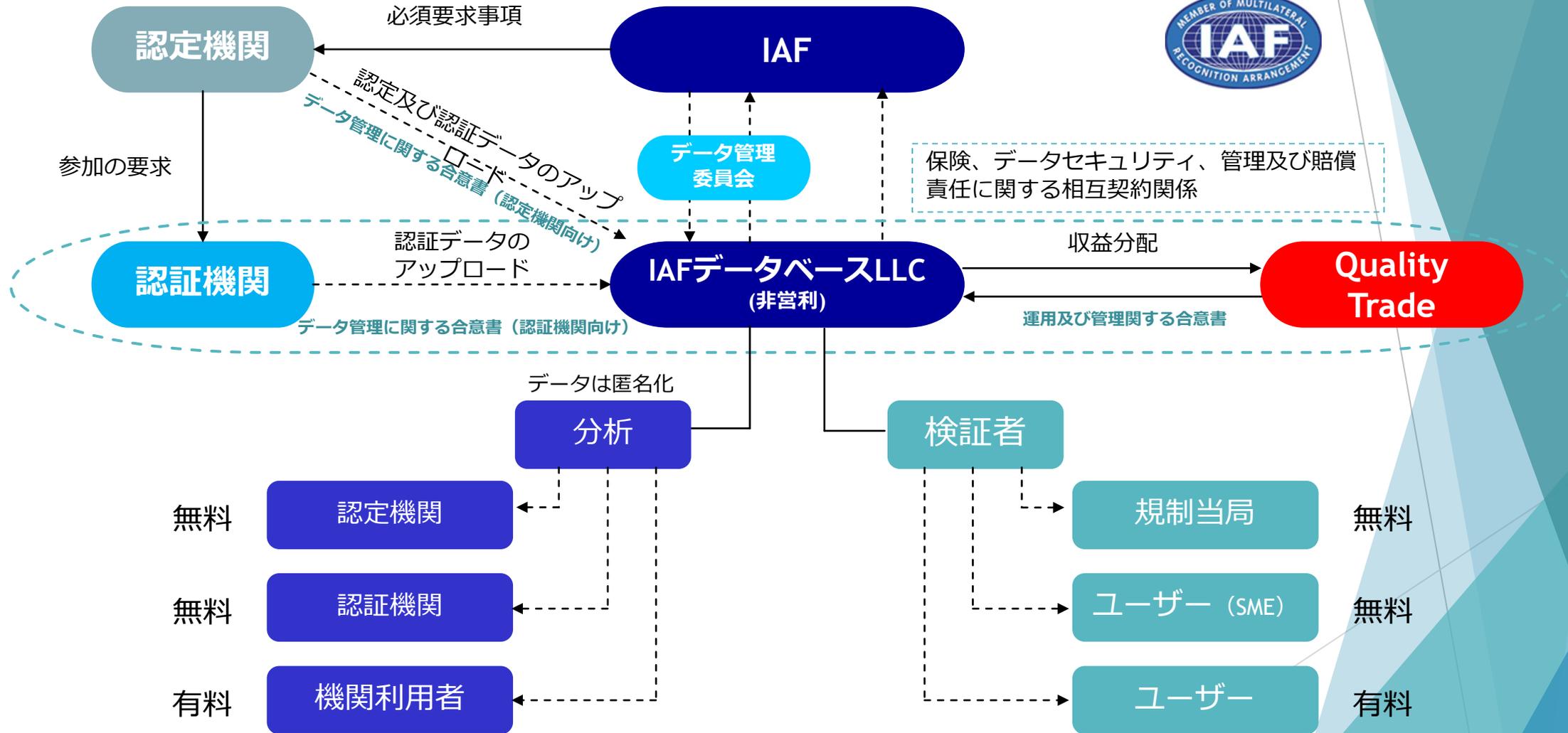
IAF CertSearch



IAF CertSearch



IAF CertSearch



適合性評価関連の国際動向

- 新しい分野
- アライアンスの拡大
- グローバル認証データベース

